

(1) 学科ごとの名称及び教育研究上の目的

経営福祉学科

経営福祉学科においては、経営や情報および社会福祉に関する専門的知識・技能を習得させ、職業人として最も基本となる人間性を育み、地域に根ざした企業人および介護福祉士としての社会的貢献を通じて地域の活性化に資する人材の養成を目的とする。さらに、経営福祉学科における2つのコース（情報ビジネス・介護福祉士）の特性を活かした、地域の活性化に資する人材育成の目的を達成するため、以下の4つの教育目標を掲げている。

- 1) 多様化した社会での「生活力」の涵養。
- 2) 基礎学力の重視と補習授業の徹底。
- 3) 実学に重点を置いた実践教育。
- 4) 地域社会との交流の促進。

幼児保育学科

幼児保育学科においては、保育に携わる教養や専門的な知識を習得させ、保育士・幼稚園教諭として最も基本となる人間性を育み、社会的貢献を通じて地域社会の発展に貢献する人材を育成することを目的としている。

さらに、幼児保育学科における二つのコース（保育総合・こども心理）の分野の特性を活かした保育者養成の目的を達成するため、以下の3つの教育目標を掲げている。

- 1) 理論と実践の融合を図り、保育者としての専門性を自覚すること。
- 2) 社会的な常識や、幅広い教養を身につけること。
- 3) 時代にあった生活感を身につけること。

(2) 専任教員数

	男性	女性	合計	(学生数)	一人当たりの学生数
経営福祉学科	9	1	10	95	10
幼児保育学科	6	4	10	157	16
合計	15	5	20	252	13

(3) 校地・校舎等の施設、その他の学生の教育研究環境

① 本学の校地及び校舎面積

本学校地面積は 19,730 m²、校舎面積 8,111 m²であり、短期大学設置基準の規定に定める校地面積 2,600 m²、校舎面積 3,950 m²を上回っており、規定充足をしている。また本学運動場面積は 6,805 m²であり、学生の体育授業等には十分といえる(表 1・2)。

本学の校地面積（表中数値の単位は全て【㎡】。平成 27 年 5 月 1 日現在）

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	基準面積 〔注〕	在籍学生一人あたりの面積	備考(共有状況等)
	校舎敷地	9,116	—	—	—	2,600	〔イ〕 60.5	—
	運動場用地	6,805	—	—	—			—
	小計	15,921	—	—	〔ロ〕 15,921			—
	その他	3,809	—	—	—			—
	合計	19,730	—	—	—			—

校舎面積（表中数値の単位は全て【㎡】。平成 27 年 5 月 1 日現在）

区分	専用(㎡)	共用(㎡)	共用する他の学校等の専用(㎡)	計(㎡)	基準面積〔注〕	備考(共有状況等)
校舎	8,111	—	—	8,111	3,950	—

【注】短期大学設置基準上必要な面積

経営福祉学科 1,600 ㎡(収容定員～100 人)/幼児保育学科 2,350 ㎡(収容定員 100～200 人)

なおこれら校地や校舎は障害者用駐車スペース、スロープ（2 箇所）、障害者用トイレ 1 箇所、手すり（各階段）を設置している。

②情報機器等を設置する教室の整備状況

本学では、各学科の教育課程編成の方針に基づき、講義室、演習室、実習室、コンピュータ室、語学学習室を整備している。

授業使用教室等一覧

講義室	演習室	実習室	コンピュータ室	語学学習室
11 室 (音楽室含)	21 室 (ホール、ピアレッスン室)	3 室 ・調理（104 教室） ・入浴室（介護棟） ・介護実習室（介護棟）	1 室 (203 教室)	1 室 (301 教室)

各教室には、本学教育編成・実施の方針に基づき授業を行うため、映像機器や調理実習機器等の備品を整備している（表 4）。平成 24 年度には机・椅子を新調した（201 教室・202 教室・102 教室・103 教室）。平成 25 年度には、各教室の黒板をホワイトボードに変更した。近年では、多くの教員が、学生の授業理解が深まるよう PC による授業資料（パワーポイント）や映像資料の提示をおこなっている。このような状況に対応すべく、各教室に必要な機器を整備し、事務局においてノート PC 貸し出しもおこなっている。またスタッフ間の情報伝達・共有の効率化を考慮し、電子メールを活用した連絡体制を整備している。

学内機器・備品等一覧 (平成 27 年 5 月 1 日現在)

教室	設備	平成 26 年度使用状況	備考
講義室 (101・102 103・201 202・304)	《各教室》 テレビ 1 台 ビデオ・DVD 1 台 プロジェクター 1 台 ワイヤレスマイク 1 台 ワイヤレスアンプ 1 台 スクリーン 1 台	101・103教室は、幼児保育学 科が主に使用。 102・202教室は、経営福祉学 科が主に使用。 304教室は、共用。	304教室 は、収容者 数254名
講義室 (301)	テレビ 1 台	英会話 I 英会話 II 日本語基礎演習	
203 教室 (パソコン室)	パソコン 31 台 サーバー 1 台 レーザープリンター 2 台 プロジェクター 1 台 スクリーン 1 台	コンピュータテラシー(経福 1 年) コンピュータ概論(経福 1 年) 簿記演習(経福 1 年) 情報ビジネス論Ⅲ(経福 2 年) プログラミング演習 I (経福 2 年) プログラミング演習 II (経福 2 年) システム設計(経福 2 年) e-ビジネス論(経福 2 年) 情報機器演習(幼保 2 年)	
音楽室	テレビ 1 台 ステレオセット 1 セット グランドピアノ 2 台 アップライトピアノ 22 台 ワイヤレスマイク 1 台 ワイヤレスアンプ 1 台 電子オルガン1台、オルガン1台 ハンドベル1式、マリンバ 3 台 ヴィブラフォン 2 台、ギロ 1 個 ティンパニー2 台、カサバ 1 個 電子ピアノ 1 台、カウベル 2 個 ウッドブロック 2 個、指揮台 1 台 ホワイトボード(5 線譜あり) 1 台 大太鼓 1 台、中太鼓 1 台、小太鼓 1 台	保育内容(生活と表現 I) (幼保 1・2 年) 基礎音楽(幼保 1 年) こどもの音楽遊び(幼保 2 年)	

	アコーディオン7台、鈴 14 個 鍵盤ハーモニカ 16 個 鉄琴(卓上)1台、タンブリン 19 個 カスタネット 42 個 トライアングル 31 個 ミュージックベル 1 式		
介護実習室	テレビ 1 台 ビデオ 1 台 DVD プレイヤー 1 台 プロジェクター 1 台 ワイヤレスマイク 1 台 ワイヤレスアンプ 1 台 スクリーン 1 台	経営福祉学科、介護福祉士コースが使用。	
図書館	テレビ 3 台 ビデオ 1 台 DVD プレイヤー 2 台 パソコン 4 台 プリンター 3 台 コピー機 1 台		
就職支援センター	パソコン 2 台 プリンター 1 台		

また本学2階には、コンピュータ室（ノート型 PC32 台）を設けており、授業使用、空き時間における学生開放等おこなっている。学生は主にレポート作成や資料収集などに利用している。情報に関する授業がない学科やコースもあるが、実習のまとめや研究発表会レジュメ等、教員の指導のもと作成している。なお、本学では通信教育はおこなっていない。授業に関する課題提出が何らかの事情により困難な学生に関しては、郵送での添削指導などの便宜ははかっている。

本学の図書館面積は 486 m²（1階 300 m²、2階 186 m²）である。蔵書数は約 40,065 冊（平成 27 年 5 月 1 日現在、表●）、座席数は 154 席（1階 96 席、2階 58 席）であり、短期大学として一定の基準は満たしているといえる。

本学図書館蔵書数

区分	和書	洋書	学術雑誌	A V 資料
冊(種)	37,434 冊	2,631 冊	36 種類	1254 種

[平成 27 年 5 月 1 日現在]

③ [キャンパスマップ](#)

④ [アクセスマップ](#)

⑤ [サークル活動](#)

(4) 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用

① 学費及び委託徴収金について

入学金（200,000円）以外の初年度の徴収金は以下の通りです。（平成27年度分）
ただし、個別に必要な経費（教科書代や実習費）は記載していません。

（単位：円）

	種別	幼児保育学科			経営福祉学科		
		年額	前期納入金	後期納入金	年額	前期納入金	後期納入金
校納金	授業料	660,000	330,000	330,000	630,000	315,000	315,000
	施設設備費	220,000	110,000	110,000	220,000	110,000	110,000
	合計①	880,000	440,000	440,000	850,000	425,000	425,000
委託徴収金	保護者会費	30,000	30,000	0	30,000	30,000	0
	学友会費	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0
	保険料(3種類)	2,791	2,791	0	2,791	2,791	0
	教材費(造形・表現)	4,000	4,000	0			
	研修費	3,000	3,000	0	5,000	5,000	0
	合計②	49,791	49,791	0	47,791	47,791	0
総計①+②		929,791	489,791	440,000	897,791	472,791	425,000

（本表は平成27年度分）

② 寄付金について

教育機器等充実のために、入学後に任意で寄付金募集のお願いをいたします。入学前には寄付金の募集は行いません。